

# やまがた村人会便り

第25号

2021.11.1

— 信州山形村は心のふるさと —

●発行/首都圏信州山形村人会

東京都豊島区要町1-48-5  
石山方 ☎03-3957-8626



首都圏信州山形村人会会長  
石山 盛也

**コロナに負けず  
無事難関を乗り越え  
来年こそは  
開催しましょう**

**第30回総会。  
ふるさとの集いに中止  
新型コロナウイルス感染**

昨年発生した「新型コロナウイルス」、今年に入っても感染は止まらず、返って変異型の出現等により感染は拡大、非常事態宣言、まん延防止等重点措置が全国的に発出され、会員の皆様も、外出の自粛等日常生活に大きな影響が出ていることと思います。

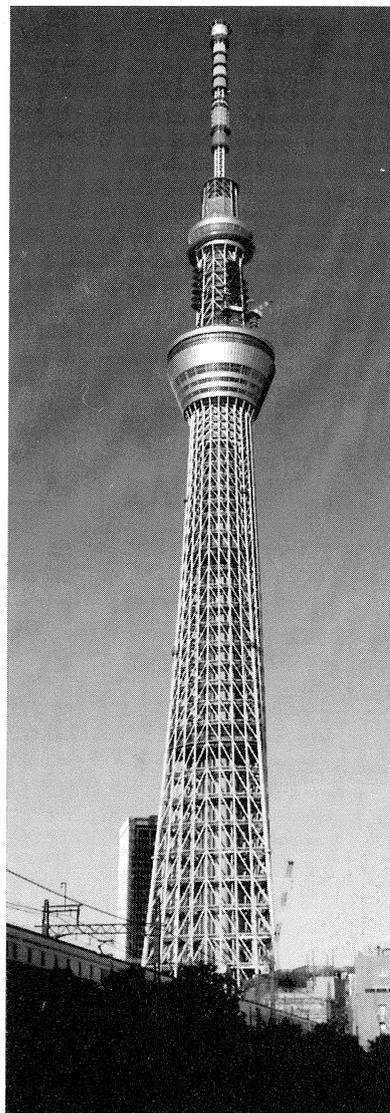
このような環境を受け、理事・役員会は「総会・ふる

止を決定しました。「総会・ふるさとの集い」は、会員皆様の懇親の場で、ふるさとを語らう重要な機会と考えてますので、来年は是非開催出来ることを期待しております。

まだまだ、制約も多く厳しい日々が続きますが、皆様のご健勝をお祈りしております。

さとの集い」の実施可否につき検討しました。

その結果、感染の可能性がある場を避けることが第一であるとして、残念ではありますが、今年も総会中は



東京スカイツリー  
撮影/土屋富男(下竹田出身)

首都圏信州山形村人会の皆様、お元気で過ごして下さいようか。

昨年に発生した、コロナウイルスの感染は、今年になっても衰えず、ますます勢いを増し、世界中を大混乱に巻き込んでおります。我々の周辺でも、いつ惨禍に襲われるか解らない大変不安の状況がつづいております。それぞれの立場で、できる限りの防衛態勢を取

り、無事この難関を乗り越えていきたいと願っております。

さて、今年も恒例の首都圏村人会のご案内する時節になりましたが、このような状況下、今年も昨年に続き「村人会総会、ふるさとの集い」を中止すべきと判断し、見送ることに決定しました。

毎年恒例の村人会が中止になることは、懐かしい人たちとの交流

の場、そして、山形村との絆の場を失うことになり大変残念なことであります。来年こそは、コロナ騒動が収束され、正常な生活を取り戻して、村人会が開催できる状況になることを期待して、頑張っていきたいと思っております。

皆様、コロナ禍に負けず、ご健勝にてお過ごしされますことをお祈りし、ご挨拶いたします。



# 会員の皆さまの近況

会員の皆さま、近況報告をお寄せいただきありがとうございます。紙面上ではありますが、良い情報交換の場となったものと考えます。尚、いただいた文面はそのまま掲載させていただきます。

◎梅澤朋子さま(東京都) 残暑見舞い申し上げます。私はワクチンを2回接種しましたが、皆様にお会いしたいのですが、コロナ禍ですので、欠席させていただきます。皆様に宜しくお伝え下さい。(8/18)

◎岡村俊子さま(東京都) いつも母がお世話になっております。岡村俊子 長女の清水百合と申します。直接本人からご連絡出来ずに申し訳ございません。現在、母はリハビリ病院にてリハビリに励む日々を送っております。また、皆様とお会いできる日まで、頑張ってもらおう所存でございます。

◎鎌田房子さま(東京都) 村人会役員の皆様、いつもお世話になっております。コロナ禍の中色々大変な事と思います。宜しくお祈いします。今年の始めに法事があり、山形に行かなければならなかったのですが、他の親戚の事もあるので日にちをずらして法事に参加しましたが、皆の顔も見れずとても残念な思いでした。私はワクチン接種も済みましたが、若い人達がほぼ全員済みまでは、自由に往来できないのが淋しい限りです。(7/03)

◎上條静子さま(東京都) コロナ禍の中で、日々増えて行く感染者

の数の多さに不安な気持ちで心配して居ります。ワクチンの接種も済みましたが今まで通り対策をして気をつけて居る毎日です。(8/16)

◎唐沢孝樹さま(東京都) コロナに怯えながら約1年半過ごして参りましたが、ようやくこの6月17日に、ワクチンの第2回目接種が終わり、先ずは一安心といったところですが、私は87才になり喘息の持病はありますが、お陰様で年齢相応の元気さでいます。できるだけ人混みを避け、玉川上水の辺などを散歩(4~5km)するのが日課のような毎日です。(6/21)

◎小林義直さま(東京都) 元気にやっています。年を取って視力も弱



「春の集い」・東京タワー見学(2019年3月)

り、昨年は両眼の白内障の手術を行い、お陰様で視力は回復しましたが、新聞等を見る時は老眼メガネを掛けるようになりました。また、新型コロナウイルス感染拡大が本心に心配です。ワクチン1回接種は終わりましたが、まだまだ心配です。(6/18)

◎佐々木悦子さま(東京都) いつもお世話様です。近頃すっかり年をとりました。足腰が思う様に出来なくなりまして。出かけることもほとんどなく生活しております。皆様のご健康を心よりお祈り申しあげます。(6/22)

◎平沢亮二さま(東京都) 大根・苗木におらがソバ― コロナ禍で集まらない中、一言

を”とのお話に、思いは自然と往時の「ふる里・山形村」にめぐらされました。私は、終戦の年、昭和20年に国民学校(今の小学校)入学。当時の最大の課題は「食料の確保」。配給ではカロリーの絶対量が足りず、都市部では食料をめぐる悲惨な事件も相次ぐなど、深刻な事態が続いていました。そのためか、村でも米、麦、サツマイモなど、カロリーの高い作物が主に作られていたように思います。そんな頃か、あるいはその後か、昭和20年代の村を象徴するものとして「大根・苗木におらがソバ」というフレーズが云われていました。これは、当時の村長さんがNHKのラジオで村を紹介する

時にも使われていた、と記憶にあります。

大根―。村に数か所ある漬物工場に農家が生産した大根が運ばれ、沢庵漬けにされたものが四斗樽に詰められ、関西や東京方面へ出荷されていたものです。

苗木―。戦争で禿山となった山林が再生のためカラマツを中心とした育苗が盛んに行われ、30センチほどに育った苗木が出荷され、国土の緑化に貢献。

ソバ―。風味豊かなソバは、以前より珍重されてきました。「ふる里のなまり懐かし停車場の人ごみのなかにそを聞きに行く」(啄木)いくつになってもふる里は懐かしいもの。

村を離れて半世紀以上。村人会へ参加する楽しみの一つは、村の様子を聞くこと。活気あふれた田舎の様子を聞くにつけ、戦後の混乱期に村の経済を支えた「大根・苗木」のように、その時々村の社会経済情勢に先駆的かつ的確に対応してきた村の方々の汗と努力のたま物であると考え次第です。改めて敬意を表し、弥栄をお祈りします。そして一刻も早いコロナの終息と村人会はじめ関係者の皆様のご健勝を切にお祈りします!! (8/16)

◎平林千啓さま(東京都) 長らくご無沙汰しております。皆様にはお元気のことと拝察致します。私も何んとか元気です。コロナに閉口しております。元会社のOB会も2年中止しております。(毎年6月下旬開催) 皆様、

御身お大切に吉祥を祈ります。(8/20)

◎福田優子さま(東京都) 前略 ちょうど今年で41年営業して参りました店舗を閉店しまして、美容室としましては娘の店の方へ併せさせて、営業する事となりました。もうすぐ80才になりますので、少しは楽になるかと思っております。コロナで実家の方へも行く事が出来ず、早く治まってくれれば良いですね、皆様よろしくお伝え下さい。(6/21)

◎古川ミツ子さま(東京都) コロナ対応個人としては2回のワクチン接種は終了し、一日でも早く以前の生活が出来る様祈っております。(7/2)

◎増澤昌寿さま(東京都) コロナ禍が続くなか、外出もまなりませんが、ようやく歌声の会(歌声喫茶の拡大版月1回)が開かれるようになり、また体操教室(週1回)も人数を減らして開催するようになり参加しています。コロナ禍が治まって村人会行事で皆さんとお会い出来るよう、祈っております。(8/17)

◎松澤寛文さま(東京都) 中国武漢市から発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に拡がり、最近では感染力の強い変異ウイルスが流行の中心となりました。小生が関わる桜植樹団体では、海外渡航制限の影響から昨年も今年も西欧やアジアでの植樹活動を停止中ですが、日本でもワクチン接種が進んでも相手国が対応出来ていない内は安心して往來できず頭を抱え

ています。一日も早く安心して安全な日々が戻るよう祈る毎日です。(6/18)

◎上條清文さま(神奈川県) コロナ禍で世界中大騒動となっておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、横浜在中ですので、ワクチン接種の大混乱で苦勞しましたが、家族を含め何とか元気に過ごしております。

さて、いろいろ判断が分かれていました。東京オリンピックは、この7月23日〜8月8日までの17日間、何とか実現の運びとなりました。東京開催の誘致に関わりました私としては、いろいろな経過を辿りながらも実施できたことは、本当に良かったと思っております。大会競技の中で、重量挙げ競技は、私の関与する東京国際フォーラムで行われました。無観客の会場でしたが、私は会場関係者として立ち会うことになりました。熱戦が続く中、日本選手も頑張りましたが、女子59キロ級では安藤末希子選手が銅メダルを獲得しました。重量挙げ競技では日本唯一のメダル獲得でした。実は安藤選手は数ヶ月前に負傷して出場を危ぶまれており、控室でも杖をついて歩いている状態でした。競技では、バーベルの重量選択を戦略的に行うなどして銅メダルを獲得することができたのです。本人はその瞬間、会場で感涙に咽んでしまいましたが、私も感動、感激で胸がいっぱいになりました。安藤選手の努力と、一生懸命闘って得た結果を称賛したいと思いま

す。コロナ騒動は、なかなか収束の見通しがたない状況ですが皆で頑張つて耐え抜き、以前のようになり、ふるさと山形村関連の行事が再開され、懐かしい方々と交流できます日が一日も早く来ます事を祈っております。(8/25)



東京タワー見学の参加者

◎中村忠久さま(神奈川県) お世話になります。私のコロナワクチン接種も以下の通り完了しました。ファイザー社のワクチンです。第1回7月6日(火)、第2回7月27日(火) 役所からの接種依頼は早く届きましたが、その日程に

従って何回もコンタクトしました  
が不可能でした。結局知り合いの  
病院へ依頼しOKとなりました。  
(8/04)

ナ禍で外出も出来ず籠りきりにな  
ったことが、幸か不幸か家庭  
内のことを少しづつやれるよう  
になりました。「今迄の自分では想  
像も出来なかったことですが、」  
お蔭で元気に毎日を過ごしてま  
す。(ワクチン接種は2回目が見  
えてます)(6/22)

です。そんな中で、オリンピック  
が感動を届けてくれました。異例  
づくめの困難の中でのアスリート  
達の熱戦！勝者、敗者がわずそ  
のドラマに感涙止まず、その一方  
で日々更新される感染症拡大に心  
を痛め、深い祈りの夏となりまし  
た。まだ続く自粛生活ですが、今  
年は若い仲間達とのリモート交流  
にデビューして元気をもらって  
ます。どうぞ皆さまお健やかに！  
終息祈りつつ(8/16)

想い出すと著者名、金森徳次郎、  
天野貞祐、清水幾太郎、高田保等  
の方でした。当時は何気なく、気  
にもとめなく読んでいました。そ  
の後、会社員になり、定年となり、  
ゆつくり考えますが、中学時代の  
読書が私に大きな恩恵を与えたこ  
とに気が付き、図書士の方、山形村  
に感謝して。戦後吉田茂首相  
の片腕として白洲次郎という方が  
いました。よく「ブルンシプル  
が大事だ」と口にしてましたが、  
私にはよく理解出来ない言葉でし  
た。私には「人間精神的バックボ  
ー」をもつことが大事だと推察し  
ました。中学時代の読書が、パッ  
クボーンを持つことにつながった  
と思います。更に機会を与えてく  
れた山形村に感謝しています。(8  
/19)

らく油断できない状況が続きそう  
で、大人しく自粛生活を送る毎日  
であります。何時まで続くか分  
りませんが、身体には気を付け、  
耐えしのうと思っております。それ  
までは皆様もお元気で過ごしく  
ださい。(8/16)

●新田博子さま(神奈川県) 会長  
さんはじめ役員の皆様、いつも近  
況のお知らせを有りがとうござい  
ます。コロナ禍で不安な毎日を過  
ごしております。早く平穏な日が  
来ます事を祈っている毎日です。  
皆様お元気で過ごして下さい。(6  
/24)

●上條比呂志さま(埼玉県) 高齡  
の両親(下竹田在住)のことが気  
になるのですが、コロナ感染防止  
の為、なかなか帰省出来ません。  
(7/16)

●上條勝男さま(千葉県) 中  
学生時代の頃の山形村の思い出  
私の中で、昭和28、31年  
の間です。村の中心部に佐野自  
転車店があり、道路の反対側に校  
舎の一部の2階建の建物がありま  
した。それが「山形村図書館」で  
授業が終わりに帰りに立ち寄り、本  
を読んだり借りたりして時間を過  
ごしました。館には図書士の方が  
居て「この本は面白いよ」と云つて沢  
山の本をすすめてくれました。今

●鈴木民也さま(千葉県) コロナ  
が早く収束し、以前の様な日常  
に戻り、皆様とお会い出来ること  
を願ひながら、毎日を過ごして  
おります。(6/20)

●山形村村長 本庄利昭様、村議  
議長 三澤一男様、役場総務課 児  
玉佳子様にもご協力をお願いし、  
投稿していただきました。

●古川憲雄(神奈川県) 昨年・今  
年の春と、村人会行事が中止とな  
り、皆様にお会い出来なく寂しい  
ですね。今年の総会は開催出来る  
ことを祈っているところです。さ  
て、私の生活は昨年来のコロナ禍  
対応としての自粛を第一に、近場  
のウォーキングとテレビ鑑賞の毎  
日です。ワクチン接種も7月には  
終わり、一日でも早い普段の生活  
が待ちどろしい毎日です。(7/  
31)

●利男さま(栃木県) 皆様お  
変わり無き事と存じます。小生も  
元気で。ゴルフに夢中で明け暮  
れです。エイジシュートもチョコ  
チョコやっています。みなさん頑  
張れ!! 祈っております。(6/17)

●服部まきさま(千葉県) 「私  
がほほ笑みかけると、私の明るい  
表情は人々を安心させた。」あた  
たかなほほ笑みは、緊張をほぐし  
人を幸せな気分になります。コロ  
ナの感染が続く今ポジティブでい  
たいと思います。ほほ笑みは神様か  
らのプレゼントで、私とそれを見  
る人の心を豊かにします。(7/  
28)

●古畑啓二さま(千葉県) 今年  
度、高齡者の仲間入りとのこと  
で、7月にワクチン接種を終え、一安  
心であります。現状では今しば

●松井 武さま(神奈川県) コロナ  
の両親(下竹田在住)のことが気  
になるのですが、コロナ感染防止  
の為、なかなか帰省出来ません。  
(7/16)

●古畑啓二さま(千葉県) 今年  
度、高齡者の仲間入りとのこと  
で、7月にワクチン接種を終え、一安  
心であります。現状では今しば

●古畑啓二さま(千葉県) 今年  
度、高齡者の仲間入りとのこと  
で、7月にワクチン接種を終え、一安  
心であります。現状では今しば

●古畑啓二さま(千葉県) 今年  
度、高齡者の仲間入りとのこと  
で、7月にワクチン接種を終え、一安  
心であります。現状では今しば



ネギの土寄せ  
定植したネギに土を掛けています。  
秋には立派なネギを収穫できま  
した。



清水寺の百体観音  
参道にはすらりりと並んだ百体観音。  
自然の静けさの中を、ゆっくりと  
歩いてみて下さい。

# 山形村公式インスタグラム 始めました

村の魅力をより多くの方に知っ  
てもらうため、6月14日に村のイ  
ンスタグラムのアカウントを開設  
しました。日常の何気ない風景や  
景色を投稿しています。コロナ禍  
で、なかなか村へ帰ってこれな  
い状況とは思いますが、写真を通  
じて「ふるさと」を感じていただ  
ければと思います。  
なお、9月7日時点で投稿数は  
176、フォロワー数は153と  
なっています。投稿した写真や動  
画は日本だけでなく、海外の方か  
らも「いいね!」をいただいでお  
りますので、ぜひ皆様もフォロー  
になって、「いいね!」してみてください  
ください。  
現時点で  
たくさん「い  
いね!」をい  
ただいた写  
真を紹介し



インスタグラム

## 山形村からも投稿いただきました

### 夏まつり じやんずらも中止

山形村議会議長 三澤一男様  
首都圏信州山形村人会の皆様ご  
無沙汰しております。  
本来であれば、東京オリンピック  
ク・パ・ランピック2020+1の  
暑い夏で大いに盛り上がりしてい  
るところであります。緊急事態宣  
言下の今は、石山会長はじめ首都  
圏村人会の皆様には昨年に引き続  
き、本年もお逢いできるか微妙な  
状況となっております。  
村に於きましても夏祭り山形  
じやんずらをはじめ恒例の行事が中  
止となり寂しい限りであります。  
さて、そうは申しまして村の  
ワクチン接種は順調に行われてお  
りますし早く往来ができるのを楽  
しみにしております。  
私も、昨年度は東筑摩郡議会議

### 村人会だよりへ 寄せる一言

山形村役場総務課 児玉佳子様  
村人会の担当させて頂いていただ  
いている、山形村役場総務課の児玉  
です。  
皆様お変わりなくお過ごしで  
しょうか?  
先日、首都圏に住むということ、今  
流行り(?)のオンライン飲み会  
をしました。

このご時世、直接会う事は叶わ  
なくても、こんな風にながれる  
ことがうれしく、また楽しいひと  
ときを過ごしました。  
画面越し 変わらぬ声と  
咲く笑顔

生活様式が様変わりしている昨  
今、時代の変化にも柔軟に対応で  
きる自分でありたいと日々勉強中  
です。  
コロナの収束はまだまだ読めま  
せんが、皆様が健やかに過ごされ  
るよう、ふるさと山形村からお祈  
りしております。

## ふるさと応援 寄付金を 募集しています

- 山形村の自然と伝統文化を守り育  
て、次代を担う子供たちに「ふるさと  
山形村」をつなげていくために皆さん  
からの応援寄付金を募集しています。  
ご協力いただいた寄付金は次の事業に  
使われます。
- ①自然を守り景観を創造する事業
- ②祭りやイベントを振興する事業
- ③子育て支援や教育を振興する事業
- ④農業や観光などの産業を振興する  
事業
- ⑤地域福祉を振興する事業
- ⑥その他、独自性のある村づくりのた  
め、村の発展のために活用します。  
※詳しいお問い合わせは  
山形村役場総務課  
山形村 〇二〇〇一  
☎ 02633-998-3111  
FAX 02633-998-3078

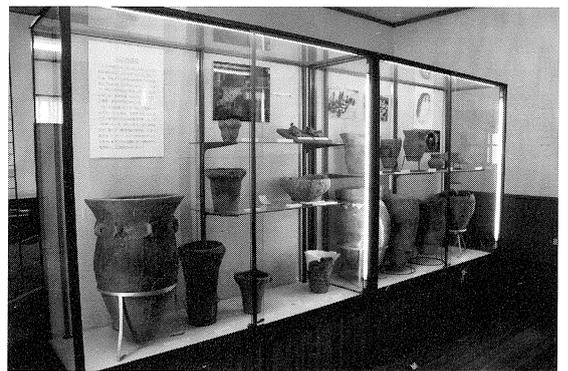
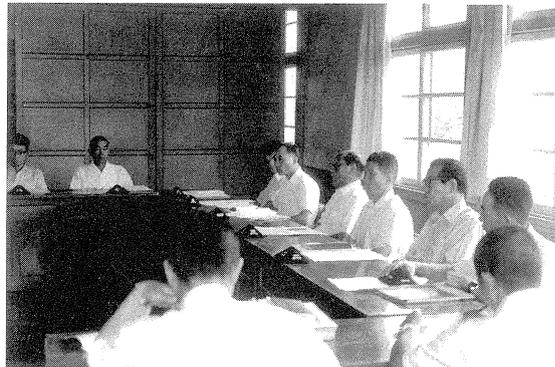
# 旧役場庁舎 老朽化のため解体

## 山形村村長 本庄利昭様

旧役場庁舎は、昭和28年12月、全村民の福利増進を目指し、総工費460万円、木造2階瓦葺床面積180坪の山形村役場庁舎が(施工Ⅱ丸田組)、竣工いたしました。

以来、公民館の機能も合わせ行政の中心施設として昭和61年までの33年間、村政運営の舞台としての役割を果たして来ました。

一階は、職員が執務を行う事務室として、2階の会議室では様々な会が開催され熱心に話し合いが行われ、議場では、村政の意思決定をする厳粛な場として、白熱した議論が繰り広げられて来ました。

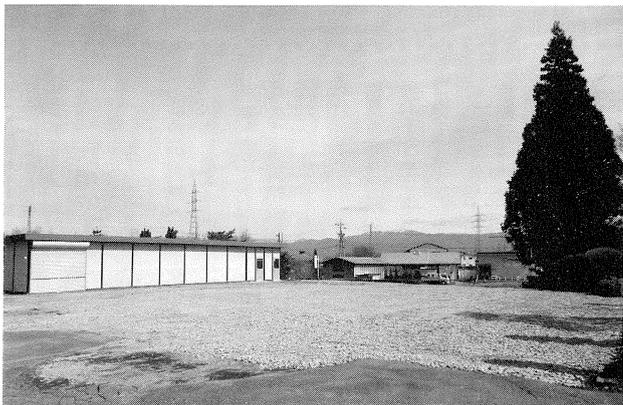


62年10月からは平成31年4月までの32年間、民俗資料館として新たな役割を果たすことになりました。

この「ふるさと伝承館」は、文化財保護委員の皆さんを中心に村の縄文土器などの埋蔵文化財、農家の改築などにより不要となった養蚕などの生活用品を収集し、縄文時代から近代までの村の歴史・民俗資料を後世に伝承する為、保存展示して来ました。

昭和28年から68年間、同じ場所です長い時を刻みながら山形村の歩みを見守り続けた旧山形村役場・山形村ふるさと伝承館。

令和2年度、老朽化のため、安全面を考慮し惜しまれながら取壊しとなった。まささらとなった「山形村3866番地」は、



どのように生まれ変わるのだろうか。村人会の皆様にも見守っていただけたらと思っております。

- ・昭和33年、水道問題から、村長・村議会議員全員が辞任
- ・39年、村営保育園発足
- ・40年、中学校が組合立(松本市・山形村・朝日村)
- ・45年、第2次農業構造改善事業に着手
- ・46年、清水高原観光開発着手
- ・48年、開村100年、清水高原清水壮オープン
- ・52年、山形保育園新築落成
- ・55年、農業者トレーニングセンター落成
- ・61年、現在の役場庁舎落成
- ・新庁舎の完成に伴い、旧庁舎は